

事業概要

大阪市では、都市計画事業の一環として、鉄道を高架化、又は地下化することによって、道路と鉄道を連続的に立体交差する「連続立体交差事業」を各所で進めています。

近鉄南大阪線の連続立体交差事業もこの中の一つで、すでに昭和51年には針中野から大和川までの区間の高架化を終え、引き続き阿部野橋～針中野間の工事を進めてきました。

そして、このほど高架橋が完成し、電車が高架線に切り替わりました。

この事業は、踏切での交通事故や交通渋滞といった交通問題を解決することを第一の目的としています。従来鉄道によって分断されていた地域の連絡や高架下の有効利用ができるようになるなど、地域の発展や環境整備の向上にもつながります。



阿部野橋駅東口及び地下化された庚申街道

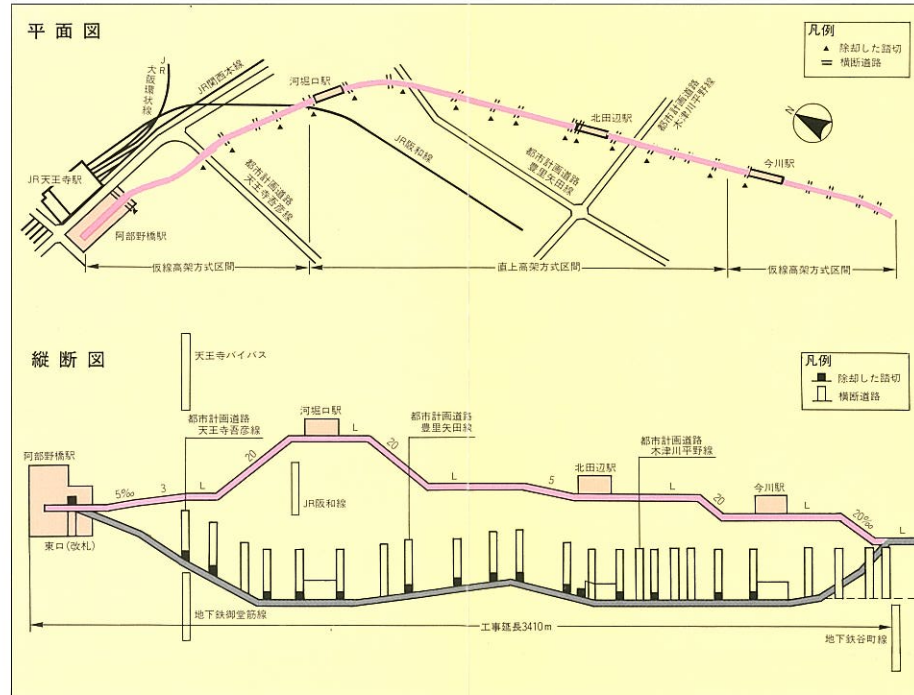


阿部野橋第1号踏切(現申街道)

- 区 間 阿部野橋～針中野間
- 延 長 3410m
- 線 路 数 複線
- 主要施設 阿部野橋駅、河堀口駅、北田辺駅、今川駅
- 除却踏切数 16
- 交差する幹線道路 天王寺吉彦線、豊里矢田線、本津川平野線
- 都市計画決定 昭和51年2月27日
- 事業認可 昭和52年3月25日
- 事業年度 昭和51年度～64年度(予定)
- 事業費 約450億円

事業経過

- 昭和50年度 連続立体交差事業として国庫補助採択
- 昭和51年2月27日 都市計画決定
- 昭和52年2月5日 基本協定締結(大阪市一近鉄)
- 昭和52年2月26日 運輸省工事施行認可
- 昭和52年3月25日 都市計画事業認可
- 昭和52年10月28日 用地買収着手
- 昭和55年5月1日 阿部野橋駅部着工
- 昭和57年11月19日 河堀口、北田辺、今川各駅着工
- 昭和58年6月7日 起工式
- 昭和61年8月10日 阿部野橋駅本設線路切替完了
(阿部野橋第2号、第3号踏切廃止；線路高架化)
- 昭和62年7月1日 阿部野橋第1号踏切廃止；通路地下化
- 昭和62年9月21日 阿部野橋駅東口(改札)開設
- 昭和62年12月6日 全区間高架線供用
- 昭和64年度 事業完了予定



河堀口第3号踏切付近(現況)



河堀口第3号踏切付近(工事着手前)

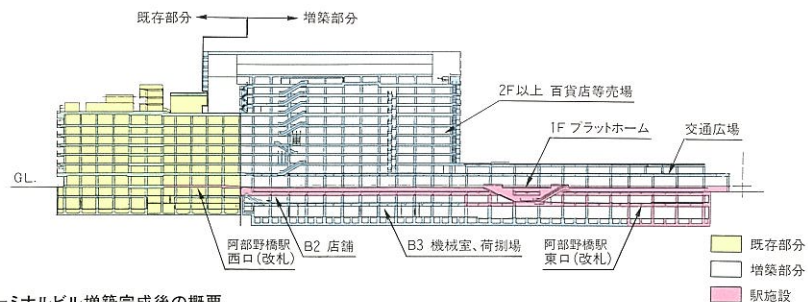
阿部野橋ターミナル整備事業

阿部野橋駅部では、連続立体交差事業にあわせてターミナル整備事業を施行しています。この事業は駅の上空及び地下等を利用して百貨店、専門店、交通広場等の複合ターミナルビルを建設すると共に、駐車場ビルを別棟に新築して、駅周

辺を整備しようとするものです。

こうした商業空間の形成と交通結節点の再整備が、地区に活性化をもたらし、大阪の南玄関としての機能を大きく高めることとなります。

阿部野橋駅及びターミナルビル概要図



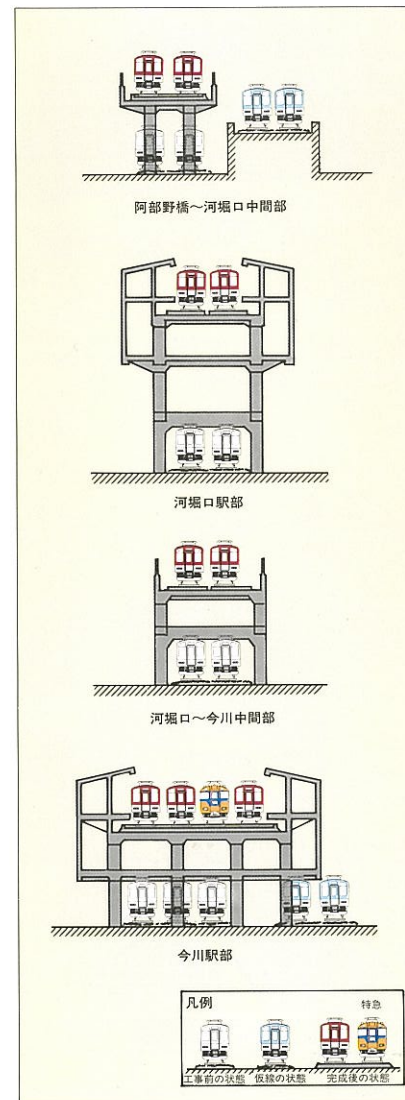
ターミナルビル増築完成後の概要

既存部分		増築部分
●規模	地下2階、地上7階、塔屋3階	地下3階、地上10階、塔屋3階
●構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	地下部……鉄骨鉄筋コンクリート造 地上部……鉄骨造
●用途	駅、百貨店	駅、百貨店、専門店
●階別使用区分	地下2階、後方室、機械室 地下1階～地上7階 百貨店 (地上1階の一部駅と共用)	地下3階 機械室、荷捌場 地下2階～地上10階 百貨店 (地下3階、地下2階、地上1階は一部駅と共用) (地下2階～地上2階は一部専門店と共用)
●延床面積	約55,000㎡	約95,000㎡
●建築面積	約6,000㎡	約14,000㎡
●増築完成予定	昭和63年秋	●その他 駐車場施設については、別棟で約700台の規模。



ターミナルビル完成予想図

施工断面



施工状況



仮設工事(阿部野橋～河堀口間)



基礎杭工事(河堀口駅付近)



柱工事(今川駅付近)



床版工事(河堀口～北田辺付近)



軌道電気工事(北田辺駅付近)